

始まっています

「住民参加」・「協働」のまちづくり

「これからのまちづくりのキーワードは、「住民参加」と「協働」。町民のみなさんが積極的にまちづくりに参加し、行政と連携して協働にふるまちづくりを進める。町の将来像である「共に生き共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」を進めるには、地域リーダーの育成と地域コミュニティ活動の推進が重要となってきます。今月号では、まちづくり団体「キラッセまちづくり」、区民農園を開設した「鏡石4区」の活動を紹介します。みなさんと一緒に協働のまちづくりについて考えてみましょう。

まちづくりを取り巻く 現状・課題

協働のまちづくりとは、町民みなさんと行政が対等な立場に立って、住民がすべきこと、行政がすべきことの役割分担を明確にし、お互いに協力してまちづくりを進めていくこととするものです。

これまで町では、みなさんとの協働により、計画策定や事業の企画・運営などを実施してきました。少子高齢化、ニーズが多様化するなかで、

みなさん一人ひとりがより幸せを感じられる地域社会を作ることが求められ、みなさんが主役となるまちづくりを進めていく必要があります。また、町民のみなさん自らが政策の内容や実施方法を選択し、判断していく取り組みが求められています。

町の長期計画を定める第4次総合計画では、複雑多様化する現代社会での、近所付き合いや地域に対する関心が薄れていることに着目し、地域リーダーの育成、協働社会づくりのために、地域コミュニティ

ティと行政の連携強化を目指すことになっていきます。

区民農園が 交流の場づくりに

鏡石4区のコミュニティ事業は、平成18年6月に実行委員会を立ち上げ、翌年3月から実施されています。じゃがいも、さつまいもなどを栽培する区民農園、集会所周辺に花壇などを設置して区民が集う場所を作りました。区民農園、花壇は、区民が

「これからのまちづくりに 求められるもの

町民みなさんが自分の住む町に興味を持ち、行政と一緒に考え、参加していくことが必要となります。地方財政が厳しい中、「住民参加」、「協働」によるまちづくりは、みなさんが自動車のエンジンのような重要な役目を果たし、主役となりながら進められる姿が求められます。

「キラッセまちづくり」の前進「商人塾」は、その名前

当番を決め、自主的に草刈りなどをしながらお互いの交流を深める場としていきます。農園の野菜が収穫されると試食会が催され、そこでも区民同士の情報交換、交流を通じてお互いに助け合う地域づくり、地域コミュニティの形成に役かっています。

会員一丸となって まちづくりを

のとおりに、町内の商工業に従事する方々が集まる、まちづくり団体でした。現在は、商工業はもちろんだ、農業、行政など様々な業種の方々が集まり、協働による地域に根ざした活動をしています。

昨年12月には、県内の手作りのCMを集めた「ふるさとCM大賞」では最高にあたる大賞を受賞するなどの活躍を見せています。また、町内をきれいにしようとゴミ拾いの活動などもするなど、会員一丸となってまちづくりを進めています。



さつまいもの収穫には子どもから大人まで100名以上の区民が参加。

CMを通じて会員の結束強まる



キラッセまちづくり
委員長
面川志朗さん

「キラッセまちづくり」の団体名は『みなさん一緒にやってみませんか』という意味合いを込めてネーミングしました。この団体には、行政、商店主、農家など様々な業種の会員がいて、地道に活動しています。地域とのコミュニケーション、関係を持つための手段として看板作りなどの活動をしてい



東北ふるさとCMフェスティバル
参加者
仙台市内で開催された東北大会では、特別賞となる環境賞を受賞。キラッセまちづくりのCMが流れると会場からは、「オッー」の声が。今回の作品にも期待が寄せられます。

ます。今回、私たちが作成した作品が、ふるさとCM大賞を受賞したことは、大変嬉しいことです。撮影は大変でしたが、ひとつのものを共有することにより団結力が深まったことが一番の成果だし、まちづくりを進めるうえで、活力になりました。次回も出品して大賞を狙いたいですね。

インタビュー



収穫物を味わう参加者
草むしりなど区民が積極的に取り組む、収穫祭には100名を超える参加がありました。参加者は、収穫したさつまいも、じゃがいもなどに舌つづみを打ちました。

少子高齢化が進む中、助け合う地域づくりが必要と考えました。その手段として区民が互いに言葉を交わす場所の区民農園を設け、コミュニティの核にしたいと思いコミュニティ事業を始めました。区民の協力があって成功できました。実施してみると、除草作業などを通して、区民の交流ができ、一

助け合う地域づくりが必要



鏡石4区
区長
渡辺俊広さん

感を共有することができましたね。何よりも参加者の笑顔が嬉しかったです。今年も区民農園などを通じ、ますます区民が一体感を感じられる行政区にしていきたいです。まちづくりは、人とのふれ合い、壮青年が中心となり、夢を持ち、人が楽しく活動することができれば必ず成功すると思いますね。